

2010年12月にチュニジアで始まったアラブの春は中東において市民が先頭に立つ民主化の波として世界の注目を浴びました。エジプトでは2011年1月、反政府デモに立ち上がった民衆がタハリール広場を埋め尽くし、翌月にはムバラク大統領が辞任しました。しかし、その後の民主化の歩みは決して容易なものではありません。この度、JICA 国別研修で来日されるエジプト選挙委員会の5名の委員およびエジプトにて選挙支援・中東連携協力に従事している黒田一敬氏をお迎えし、エジプトの平和、民主化と選挙の果たす役割を共に考える機会を持ちます。

アラブの春から4年 エジプトの選挙、平和と民主化を考える

国際協力機構（JICA）、広島大学大学院国際協力研究科（IDEC）、
国際開発学会広島支部共催

- 日時** 2015年2月17日（火） 10:00-12:00
- 会場** 広島大学大学院国際協力研究科 1階 大会議室
- 講師** 片柳真理 国際協力研究科准教授
- ゲスト** エジプト選挙委員会委員
- Mr. Elsayed Elhosafi
Mr. Abdelnasser Khattab
Mr. Nady Youssef
Mr. Yasser Elmabdy
Ms. Zaki Barakat
- 黒田一敬 選挙支援専門家 JICA エジプト事務所
- 言語：** 日本語・アラビア語 （逐次通訳あり）

お問合せ先：片柳真理 marikat@hiroshima-u.ac.jp ☎ 082-424-6953